

平成22年度

苫小牧市立病院経営改革プラン評価報告書

平成23年11月

苫小牧市立病院経営改革評価委員会



目 次

・はじめに	1
・経営改革プランに対する評価	2
第1節 評価の概要、総評	2
(1) 項目Ⅰ 経営指標に係る数値目標	4
(2) 項目Ⅱ 経営効率化のための具体的な取り組み	6
(3) 項目Ⅲ 各年度の収支計画	9
第2節 今後の病院経営に対する提言	11
(1) 医療提供体制について	11
(2) 経営体質の強化について	12
【付属資料】	
・委員名簿	13
・会議開催の状況	14

はじめに

本委員会は、平成21年2月に策定された「苫小牧市立病院経営改革プラン」の進捗状況を、外部委員で構成する評価委員会で検討するために設置された第三者委員会であるが、今年度は22年度の実績に対する評価及び意見を求められた。

経営改革プランの計画期間は21～23年度の3ヶ年であるが、22年度は2年目ということもあり、計画の着実な進捗が見られたが、一部の項目では未達成であるため、最終年度である23年度において積極的に取り組まれていることが期待される。

今後の経営における最大の課題は、医師や看護師をはじめとするスタッフの確保であろう。このことは良質な医療水準の維持・向上のために必要であることはもちろん、7：1看護体制に代表されるように、人材の投入が収益に直結する現在の診療報酬制度の仕組みからも求められることである。看護師など医療スタッフの不足が深刻化している状況の下、病院で新たに取り組んでいる対策が実を結ぶことを望む。

市立病院の経営状況は改善傾向にあるとはいえ、医療を取り巻く状況は依然として厳しく、先行きの不透明な要素もあるが、東胆振・日高地区の中核病院として専門性の高い医療を提供し、経営の安定化を図るため、改革プランに従って着実に事業が展開されることを期待する。

平成23年11月

経営改革評価委員会
委員長 水元修治

経営改革プランに対する評価

第1節 評価の概要、総評

【評価の概要】

市立病院は、経営改革プランに対し以下の基準で自己評価していることから、対比を明確にするため本委員会においても同一の基準に基づき評価した。

A：目標を余裕を持って達成し、付加価値が生じた。

B：プランの目標値は達成した。

C：プランの目標達成に向けて取り組みはしているが、現状未達成である。

D：プランの目標達成に向けて取り組めていない。

E：検討されていない。

ここで予め20～22年度実績評価の概要を下表のとおり示す。

			A	B	C	D	E	計
経営指標	20年度	病院自己評価	3	4	2	0	0	9
		委員会評価	2	5	2	0	0	9
	21年度	病院自己評価	4	1	4	0	0	9
		委員会評価	3	2	4	0	0	9
	22年度	病院自己評価	3	4	2	0	0	9
		委員会評価	2	6	1	0	0	9
具体的 取り組み	20年度	病院自己評価	5	22	5	1	0	33
		委員会評価	5	20	6	2	0	33
	21年度	病院自己評価	12	18	3	0	0	33
		委員会評価	10	19	4	0	0	33
	22年度	病院自己評価	15	17	1	0	0	33
		委員会評価	11	21	1	0	0	33
収支計画	20年度	病院自己評価	0	30	6	0	0	36
		委員会評価	0	30	6	0	0	36
	21年度	病院自己評価	8	14	14	0	0	36
		委員会評価	8	14	14	0	0	36
	22年度	病院自己評価	8	13	15	0	0	36
		委員会評価	7	15	14	0	0	36
合計	20年度	病院自己評価	8	56	13	1	0	78
		委員会評価	7	55	14	2	0	78
	21年度	病院自己評価	24	33	21	0	0	78
		委員会評価	21	35	22	0	0	78
	22年度	病院自己評価	26	34	18	0	0	78
		委員会評価	20	42	16	0	0	78

総体的にみると20年度は計画初年度ということもあり、D評価を受けている項目もあった。21年度では20年度に多かったB評価からA・C評価にそれぞれ移行する傾向を示した。22年度は21年度C評価であったものが、B評価に若干シフトしており、このことは計画の着実な進捗を示すものであろう。

22年度における病院自己評価と委員会評価をみると、病院でA評価をつけた6項目について、まだ改善の余地があると判断したため、委員会はB評価とした。また、病院でC評価をつけた2項目について、一定の成果があると判断したため、委員会はB評価とした。

【総評】

経営を評価する上で重要な指標である経常収支比率は大幅に改善し100.3%となり、また、収益的収支では21年度まで純損失を計上していたが、22年度は138百万円の純利益計上となっている。また、単年度資金収支で254百万円の資金余剰が発生しており、累積資金不足額は21年度の1,095百万円から22年度の841百万円へと解消が進んだ。

しかし、紹介患者数といった指標では、前年度と比較すると改善の傾向は見られたものの、計画値は依然として達成されていない。

この結果、経営全体に対する評価としては、「概ね良好である」といえる。

個々の評価項目に対する本委員会の評価及び意見の詳細は、4～10ページに示すとおりである。

(1)項目 I 経営指標に係る数値目標

【財務に係る数値目標】

項番	項目	20年度実績値	21年度実績値	22年度計画値	22年度実績値	23年度計画値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
								評価	意見
1	経常収支比率 (%)	93.6	96.6	100.7	100.3	101.7	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 良好な経営状況を示す一つの目安である経常収支比率100%を超えており、経常収支の黒字化が達成されている。前年度と比較しても3.7%と大幅な改善が見られたことは評価に値する。引き続き新たな増収対策を実施するとともに費用の抑制に努めることを求める。
2	職員給与費対医業収益比率 (%)	51.2	50.9	47.0	49.6	46.8	C	B	病院評価はCであるが、前年度と比較して1.3%改善し、50%以下に抑制されていることは一定の成果として認められるため、評価をBとする。
3	材料費対医業収益比率 (%)	26.7	24.5	25.8	23.4	25.8	A	B	病院評価はAであるが、材料費は前年度と比較して16百万円増加している。後発医薬品の採用拡大など更なる改善の余地があるため、評価をBとする。
4	一般病床利用率 (%)	86.9	87.6	87.5	86.9	88.0	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 前年度と比較して0.7%減少したが、その要因の一つである平均在院日数の短縮は収益増加につながるもので、経営的にはプラスとなる。また、計画値との乖離も僅差である。
5	入院患者1人1日当たり収入額 (円)	43,807	46,525	47,074	49,535	47,074	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 前年度と比較して3,010円、計画値と比較して2,461円と大幅な伸びを示しており、評価に値する。今後とも診療報酬につながる病院機能の充実に努めることを期待する。
6	外来患者1人1日当たり収入額 (円)	8,679	9,690	8,679	10,218	8,679	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 計画値を1,539円と上回っていることは評価に値する。

【その他の指標】

項番	項目	20年度実績値	21年度実績値	22年度計画値	22年度実績値	23年度計画値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
								評価	意見
7	紹介患者数 (人)	7,537	7,774	8,140	8,099	8,380	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 一次医療機関からの紹介患者の確保は安定した医業収益の維持につながるものであり、今後、計画値が達せられることを求める。
8	救急患者数 (人)	10,469	8,352	10,200	6,257	10,000	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 救急患者数は、21年度に夜間・休日急病センターが新施設でオープンしたことなどの影響により、毎年大幅に減少している。一方、救急車による搬送件数は、20年度2,543件、21年度2,596件、22年度2,617件と微増している。このことは救急患者のうち、一次医療機関を受診すべき軽症患者が減少していることを示し、本来の二次救急医療機関の役割は果たしつつ、医師の負担軽減が図られているものと理解できる。
9	手術件数 (件)	2,381	2,562	2,370	2,538	2,440	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

(2)項目Ⅱ 経営効率化のための具体的な取り組み

【医療提供の充実】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
1	外来診療体制の強化	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。今後とも医師の確保を図り、より専門性の高い医療の提供がなされることを求める。
2	がん診療の充実	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。がん診療連携拠点病院の指定を目指して、積極的に条件整備に取り組んでいる。地域におけるがん診療の充実のためにも、将来的に拠点病院となることが期待される。
3	放射線治療の開始	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。今後とも放射線治療医師の常駐配置の実現に向け努力されることを求める。
4	助産師外来の開始	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。今後とも助産師の確保を図り、継続されることを期待する。
5	専任看護師の配置	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。各分野における資格を取得した専任看護師の配置は、患者への良質な医療サービスの提供に有効である。今後とも計画的な育成・確保・配置の取り組みが継続されることを求める。
6	救急医療体制の強化	21年度～	A	B	病院評価はAであるが、ICU病床を有する病院としては職員体制の充実について、まだ検討の余地があるため評価をBとする。
7	リハビリテーション体制の強化	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。今後とも理学療法士、作業療法士、言語療法士の計画的な採用が行われることを求める。
8	地域医療連携ネットワークシステムの拡大	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。なお、前年度に引き続き接続医療機関数の増加は認められるものの、紹介患者数の指標においては依然として目標未達成であり、内容の充実が求められる。

【収入の増加】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
9	7:1看護体制への移行	20年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。7:1看護体制は、良質・安全な看護サービスの基礎を成すものであり、経営の視点からも入院料の底上げにおいて重要である。今後とも看護師確保に努め、体制が維持されることを求める。
10	小児入院管理料2の算定 ※平成22年4月改定で、小児入院管理料3に名称変更	20年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
11	入院時医学管理加算の算定 ※平成22年4月改定で総合入院体制加算に名称変更	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
12	特定集中治療室管理料の算定	21年度～	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。算定の前提となる看護師確保が困難な状況であることは理解できるが、経営の視点から看護師の新規採用等に努め、目標が達成されることを求める。
13	DPC請求の開始	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。22年度はコンサルタントを導入するなど、効率的な運用に努めている。今後とも医療の標準化を前提とした上で、診療内容の質の低下を招かないよう適切な運用を求める。
14	人工透析の拡大	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
15	査定対策の充実	20年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。今後とも院内における連絡調整を密にし、請求委託業者への点検強化の働きかけを継続して、査定率の維持・改善を求める。

【経費の節減】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
16	職員給与の適正化		B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 ただし、これは給与制度の見直しの取り組みに対する評価であり、職員給与費の金額に対する評価は別の項目で行っている。給与制度の見直しについては、早期に残りの課題を解決するように求める。
17	診療材料費の削減	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 価格削減交渉や安価品目への切り替えなどに取り組み、一定の効果をあげているが、診療材料費全体としては前年度より増加している。今後とも更なる購入額の削減に努めることを求める。
18	後発医薬品の採用拡大	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 後発医薬品は薬剤総購入額の9.65%となっており、計画の目標である10%にほぼ達したとあってよく、効果額も82百万円と大きい。計画の最終年度である23年度には10%が達成されることを強く期待する。
19	光熱水費を削減	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 環境保全的な視点からもOA機器の節電などにおいて今まで以上に積極的な取り組みが求められる。
20	産業廃棄物処分手数料を削減	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 今後とも感染対策など病院機能の維持に影響が出ない範囲内で、更なるコスト削減が行われることを求める。
21	コスト意識の醸成	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【患者サービスの向上】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
22	患者意見の反映	20年度～	A	B	ご意見箱設置による意見聴取以外の方法を取り入れることなど検討することを求める。また、要望や苦情を受けて、業務等を改善する余地もまだある。 よって、病院評価はAであるが、Bとする。
23	患者満足度調査の継続実施	20年度～	A	B	病院評価はAであるが、調査が継続して行われていることは一定程度評価できるものの、外来待ち時間の改善などの結果に結びついていないと難しいため、評価をBとする。
24	接遇研修の実施	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 医療分野もサービス業の一つであることを認識し、今後とも接遇の改善に取り組むことを求める。
25	病院広報誌の発行	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【人材の確保】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
26	医師確保の取り組み	20年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 医師不足による地域医療の崩壊が各地で起こっている状況の中で、他の公立病院と比較して医師確保がなされていることは十分評価できる。
27	看護師確保の取り組み	20年度～	A	B	病院評価はAであるが、看護師不足が深刻化する中、新たな対策に取り組んでいることは一定程度評価できるが、十分な結果に結びついていないと難しいため、評価をBとする。
28	医師の事務負担を軽減	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 今後とも現場の求めに応じた適正な医療事務補助者の配置がなされ、医師の負担軽減が図られることを求める。
29	院内保育所の24時間化	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 看護師の就労環境整備はその雇用確保と離職防止において重要な要素であり、今後ともより一層の充実が求められる。
30	研修の強化	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 各職種が学会などの場でその専門分野の先端技術等に触れることは、職員のモチベーションを高めるためにも必要なことである。
31	事務プロパー職員の採用検討	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【経営体制の強化】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
32	地方公営企業法の全部適用を検討	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 今後とも経営形態を見直さざるを得ないような経営状況の悪化を招くことがないよう、安定した経営が求められる。
33	組織の見直し	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 今後とも病院機能が効率よく運用されるよう、適宜、組織の見直しが行われることを求める。

(3)項目Ⅲ 各年度の収支計画

【収益的収支】

(単位:千円)

項番	項目	20年度 実績値	21年度 実績値	22年度 計画値	22年度 実績値	23年度 計画値	病院 評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
								評価	意見
1	病院事業収益	8,398,352	9,036,568	8,943,258	9,538,165	9,022,700	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
2	医業収益	7,624,666	8,287,089	8,194,963	8,740,340	8,226,855	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
3	うち入院収益	5,255,171	5,625,144	5,681,829	5,939,724	5,713,721	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
4	うち外来収益	1,944,748	2,176,902	2,054,319	2,277,501	2,054,319	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
5	医業外収益	600,994	576,787	575,604	625,134	558,089	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
6	特別利益	172,692	172,692	172,691	172,691	239,756	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
7	病院事業費用	9,785,840	9,203,713	8,733,482	9,400,705	8,659,452	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
8	医業費用	8,457,849	8,871,817	8,397,417	9,043,639	8,336,103	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
9	うち職員給与費	3,899,712	4,212,054	3,852,555	4,335,034	3,852,555	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。ただし、医療機能の維持・向上、収益向上のための投資として必要なものと認められる。
10	うち材料費	2,137,197	2,130,702	2,114,827	2,146,929	2,123,426	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
11	医業外費用外	322,895	306,089	314,565	291,280	301,849	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
12	特別損失	1,005,096	25,807	21,500	65,786	21,500	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
13	経常収支	△ 562,893	△ 313,199	58,585	31,373	144,992	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
14	当年度純損益	△ 1,386,522	△ 166,314	209,776	138,278	363,248	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
15	利益剰余金又は累積欠損金(△)	△ 5,957,189	△ 6,123,503	△ 5,922,200	△ 5,985,225	△ 5,558,952	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【資本的収支】

(単位:千円)

項番	項目	20年度 実績値	21年度 実績値	22年度 計画値	22年度 実績値	23年度 計画値	病院 評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
								評価	意見
16	資本的収入	1,629,707	712,347	796,917	805,152	676,909	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
17	うち企業債	996,600	27,100	100,000	72,300	100,000	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
18	うち他会計出資金・負担金	610,394	676,247	696,917	697,387	576,909	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
19	資本的支出	1,005,495	1,075,933	1,166,292	1,171,549	1,175,714	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
20	うち建設改良費	65,784	40,849	103,000	111,120	103,000	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
21	うち企業債償還金	939,711	1,035,084	1,063,292	1,060,429	1,072,714	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
22	収支差引	624,212	△ 363,586	△ 369,375	△ 366,397	△ 498,805	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【単年度資金収支ほか】

(単位:千円)

項番	項目	20年度実績値	21年度実績値	22年度計画値	22年度実績値	23年度計画値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
								評価	意見
23	単年度資金収支	525,116	△ 62,906	296,145	254,459	250,274	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
24	累積資金収支	△ 1,032,057	△ 1,094,963	△ 808,911	△ 840,504	△ 558,637	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
25	一般会計繰入金	1,333,303	1,402,361	1,416,139	1,431,365	1,343,681	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【その他】

項番	項目	20年度実績値	21年度実績値	22年度計画値	22年度実績値	23年度計画値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
								評価	意見
26	経常収支比率%	93.6	96.6	100.7	100.3	101.7	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
27	職員給与費率%	51.2	50.9	47.0	49.6	46.8	C	B	病院評価はCであるが、一定の成果が認められるため、評価をBとする。
28	材料費対業収益比率%	26.7	24.5	25.8	23.4	25.8	A	B	病院評価はAであるが、更なる改善の余地があるため、評価をBとする。
29	資金不足比率%	13.2	10.7	9.9	9.6	6.8	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
30	患者数人	119,958	120,903	120,700	119,907	121,400	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
31	入院1日当たり患者数人	329	331	331	329	333	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
32	病床利用率%	86.9	87.6	87.5	86.9	88.0	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
33	診療単価円	43,807	46,525	47,074	49,535	47,074	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
34	患者数人	224,039	224,619	236,700	222,865	236,700	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
35	外来1日当たり患者数人	918	928	970	917	970	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
36	診療単価円	8,679	9,690	8,679	10,218	8,679	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

第2節 今後の病院経営に対する提言

(1) 医療提供体制について

ア 人材の確保と育成

医師・看護師をはじめとするスタッフの確保の重要性は先に述べたとおりである。新規採用者の確保に向けた対策に取り組むとともに、現職の離職を招かないよう、更なる負担軽減が求められる。

また、専門的で良質な医療サービスを提供するため、専門医や認定看護師等を確保して体制を強化すると共に、各種研修の充実により職員レベルの底上げと質の向上を図ることを求める。

イ 救急医療の充実

軽症患者の減少により、医師の負担軽減が図られ、二次救急医療機関の役割がより明確になった。

地域における二次救急医療機関の一つとして、専門的なスタッフの育成、医療機器の整備などにより、更なる機能の充実を求める。

ウ 災害拠点病院の機能充実

本年3月に発生した東日本大震災により、激甚災害発生時における医療機能の維持確保の重要性が改めて認識された。

市立病院は本年4・5月、医療救護班を宮城県気仙沼市と岩手県陸前高田市に派遣した実績があり、11月に災害拠点病院の指定を受けている。このため、必要な災害備蓄の確保、DMATチームの人材育成・装備及び訓練の充実などが求められる。

エ 利用者の意見

医療分野もサービス業の一つであり、患者の満足度の向上は常に求められる。本来の医療提供の充実は当然として、接遇などにおいて患者の視点にたった改善が求められる。

(2) 経営体質の強化について

ア 収益の増加

医業収益において21年度で662百万円、22年度で453百万円と大幅な伸びを見せていることは、評価すべきである。

DPC制度下において、診療の質の低下を招かないよう適切な運用を行い、医療の標準化と病院機能の向上に取り組み、増収を図ることを求める。

イ 費用の適正化

① 人件費

現在の診療報酬制度は人材投入が収益増加に大きく関わる構造であり、医師及び看護師等の確保による医療提供の質的向上を図るとともに、医業収益の拡大による人件費比率の抑制を図ることを求める。

② 材料費

材料費のうち薬品費については、改革プランの取り組み事項にもあり、後発薬品の安全性に関する情報収集に努め根拠を明確にした上で、後発医薬品の更なる採用拡大に取り組み、費用の削減に努めることを求める。

委員名簿

区分	所 属	役 職	氏 名	備 考
医療関係機関	社団法人 苫小牧市医師会	顧問	水元 修治	委員長 21～23年度委員
	財団法人 苫小牧保健センター	理事	畔蒜 正義	21～23年度委員
	北海道胆振総合振興局 保健環境部 苫小牧地域保健室	次長	志賀 利美	23年度新任
経済関係機関	苫小牧商工会議所	副会頭	阿部 喜朗	21～23年度委員
	苫小牧信用金庫	専務理事	千葉 憲万	副委員長 23年度新任
	社団法人 苫小牧青年会議所	理事長	藤田 健次郎	22・23年度委員
学識経験者	苫小牧駒澤大学	教授	佐藤 郁子	21～23年度委員
	苫小牧消費者協会	会長	橋本 智子	21～23年度委員

【参考】

事務局	苫小牧市	副市長	中野 裕隆	
	市立病院	病院長	藤咲 淳	
		事務部長	萩原 敏彦	
		部次長	木戸 克史	
		医事課長	椿 勇喜	
			財務係	庶務担当

【付属资料】

会議開催の状況

	開催月日 開催場所	議事内容等
第1回	10月27日 市立病院講堂	・委員委嘱状交付 ・副委員長選任 ・22年度実績 病院自己評価について ほか
第2回	11月14日 市立病院講堂	・経営改革プラン22年度実績に対する委員会評価 意見について ほか
第3回	11月24日 市立病院 応接会議室	・経営改革プラン評価報告書のとりまとめについて ほか